

# 山事研會報

山梨県公立小中学校事務職員研究会 編集発行人 調査広報部



第17号 平成20年8月1日 発行

## 平成20年度 第1回研修会及び定期総会 開催

平成20年度第1回研修会と第11回定期総会が、5月29日に甲斐市敷島総合文化会館の大ホールで開催されました。研修会130名、総会74名の出席で行われました。なお、総会の委任状は37名でした。

### 研修会 「学校訪問内容等の実施状況及び旅費の取扱いについて」

講師 山梨県教育委員会 福利給与課 給与担当 主任 中澤麻美 様  
主事 眞田卓也 様



前半は、中澤主任から、平成19年度内に行われた学校訪問での調査結果と過去3年間の状況について説明していただきました。また、調査をした際に記入漏れ、間違いなどが多かったものについて、事例を紹介していただくなど、詳しく教えていただきました。

#### 【学校訪問調査】

平成10年度から3年を区切りとして全校を対象に所管教育事務所と福利給与課が訪問を開始しました。平成19年度では、7月から10月にかけて訪問をし、実施校は68校（内 1/4に福利給与課が同行）とのことでした。

後半は、眞田主事から、平成20年3月に福利給与課から出された「旅費質疑応答集【第1版】」について、説明をいただきました。Q & Aの事例説明を受けながら、様々な事例について再確認しました。

### 第11回定期総会

はじめに、会長の佐藤朝幸の挨拶のなかで、本研究会が10周年を迎え、これまでこの会を支援してきていただいた方々への感謝の言葉が述べられました。

また、今年度開催される関プロ山梨大会に向けて、現在一丸となって準備を進めていること、会員数が少ないので



一人でも多くの参加や入会を期待したいとお話がありました。事務職員を取り巻く現状として、学校評価制度に学校関係者評価の導入や公表、設置者への報告など学校管理運営に対する責任が一層の強まっていること。予算化には至りませんでした。教員の子どもと向き合う時間の確保という観点から、事務職員の定数増に向けた予算の取り組みが行われたこと。現在、文部科学省で事務



今年度より副会長に、  
望月美代子事務幹（下吉田中）  
が就任されました。

長制度化を検討していること等から、学校経営に参画できる事務職員としての資質向上が求められるため、研修の機会の確保が必要であり、本研究会の果たす役割も大きいこと。以上についてもお話がありました。

会員からは、関プロの山梨大会実施にあたって、会員の拡大を呼びかける取り組みを行っていきましょうという意見や、本研究会の研究のあり方（内容）についても、新たに考えてほしいという意見が出されました。



# 関プロ 山梨大会

平成21年1月29日（木）～平成21年1月30日（金）

於：甲府市総合市民会館・甲府市社会教育センター

大会テーマ 子どもの豊かな育ちを支援する学校事務

いよいよ、関プロが迫ってきました。

会員の皆さまのご協力をお願いいたします。



会報に関する  
ご意見・ご要望  
お待ちしております！

☆ 連絡先 ☆

調査・広報委員会 富士川小 深澤 友美  
FAX 055-232-2403  
E-MAIL [fujikawae@city.kofu.yamanashi.jp](mailto:fujikawae@city.kofu.yamanashi.jp)

## 次回会報予告

(第18号)

- ・ 第2回研修会
- ・ 全事研 福島大会

おたのしみに！

